

学習評価 FIRST STEP ―中学校社会科―

1 学習評価は何のため？

学習評価の目的は、生徒の資質・能力を育成することです。生徒の学習状況を適切に見取り、生徒の学習改善や教師の指導改善に生かすことが大切です。



2 中学校社会科における学習評価の観点及びその趣旨

育成を目指す資質・能力の三つの柱を踏まえ、以下の3つの観点で評価を行います。

知識・技能

我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解していると同時に、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。

思考・判断・表現

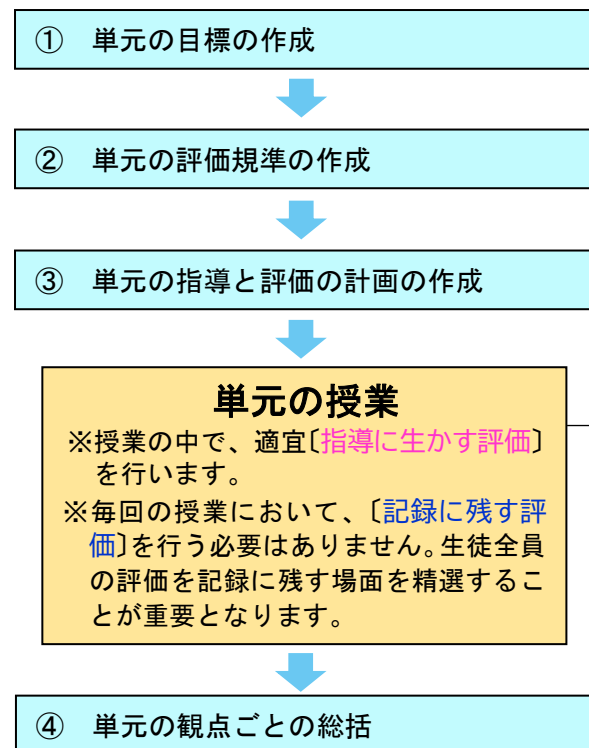
社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

主体的に学習に取り組む態度

社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

3 中学校社会科における学習評価の進め方

学習評価の手順



留意点

- ・内容のまとまりや各分野の項目構成を踏まえて、単元の評価規準を作成します。
- ・①、②を踏まえて単元を設計し、評価を行う観点や場面、評価方法を決め、**〔指導に生かす評価〕**と**〔記録に残す評価〕**を計画します。
- ・どのような評価資料（生徒の反応やノート、ワークシート、作品等）を基に、「おおむね満足できる」状況（B）と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況（C）への手立て等を考えたりします。
- ・単元の学習過程において、**〔指導に生かす評価〕**に重点を置き、日々の授業の中で行います。生徒が学習状況の改善を図る機会をもった上で、**〔記録に残す評価〕**を行います。

単元の授業

- ※授業の中で、適宜**〔指導に生かす評価〕**を行います。
- ※毎回の授業において、**〔記録に残す評価〕**を行う必要はありません。生徒全員の評価を記録に残す場面を精選することが重要となります。



③で作成した計画については、単元の始めて、生徒と共有することが望ましいと考えられます。また、評定への総括については、④で単元ごとに集めた評価資料や評価結果に、定期テスト等による評価結果を加えて総括することが考えられます。

〔指導に生かす評価〕と**〔記録に残す評価〕**の具体を確認しましょう。

特に**〔指導に生かす評価〕**自体は、授業中における生徒の反応に対し、常時心掛けるべき「指導」でもあります。

〔指導に生かす評価〕

生徒一人一人の学習状況を把握し、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげるための評価のこと

※**〔指導に生かす評価〕**の場面は、随時存在します。「おおむね満足できる」状況（B）以上になることを目指して、日々の授業の中で必要な指導を適宜行います。

〔記録に残す評価〕

観点別学習状況の評価を総括する際の資料となるよう、学習状況を記録する評価のこと

※**〔記録に残す評価〕**の結果も、生徒の学習改善や教師の指導改善に生かします。

4 単元の指導と評価の計画【評価場面や評価方法の具体例】

歴史的分野 項目C(1)近代の日本と世界 事項A(7)～(I)「欧米諸国のアジア進出」「明治維新」「立憲国家の成立」「近代産業の発展」の単元を例に

時	ねらい・主な学習活動	評価の観点			評価規準と【評価方法】
		知	思	態	
単元の導入	【ねらい】当時の国際関係の中で日本が立憲国家となった意義や国際社会との関係性、現在とのつながりについて、答えを予想したり追究に役立ちそうな情報を挙げたりするなど追究への見通しをもつ。 【単元を貫く問い】「なぜ、日本は日露戦争を始めたのか～戦争を防ぐために必要なことを見いだそう～」 ・単元を貫く問いの追究に向け、教科書やこれまでの学習などを踏まえて考察し、単元振り返りシートに記入する。 ・単元の学習計画、評価の計画を確認し、追究の見通しをもつ。				●…〔指導に生かす評価〕、○…〔記録に残す評価〕 ●明治政府の諸改革の目的や条約改正などに着目して、単元を貫く問いに対する答えを予想したり、追究に役立ちそうな情報を挙げたりするなど、追究への見通しを立てている。 【単元振り返りシート】
小単元1	【ねらい】欧米諸国における工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することを通して、欧米諸国が「近代化を成立させてアジアへ進出したこと」を理解する。 【小単元の問い】「『近代化』の進展で、欧米諸国はどのような社会に変化したのだろうか」 ・1次の問い「なぜ欧米諸国はアジアへ進出したのだろうか」について、資料を活用して考察し、話し合った結果を発表する。 ・2次の問い「日本の開国は、列強との貿易の影響とともに、日本社会にどのような影響をもたらしたのだろうか」について、資料を活用して考察し、話し合った結果を発表する。 ・1次及び2次でワークシートに記入したことを踏まえて、【小単元の問い】について考察し、ワークシートに記入する。 ・単元を貫く問いとの関わりを確認する。				●資料から追究につながる情報を適切に読み取っている。 【ワークシート】 1次の問いについて、工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して考察し、結果を表現している。 【ワークシート】 ○工業化の進展と政治や社会の変化、列強との交易とその影響などに着目して、小単元の問いについて考察し、結果を表現している。 【ワークシート】 欧米諸国が近代化を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 【ワークシート】 自己の学びを振り返り、調整しようとしている。 【単元振り返りシート】
小単元2	【ねらい】明治政府の諸改革の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することを通して、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 【小単元の問い】「明治維新とは、どのような国づくりを目指した動きだったのだろうか」	途中省略			途中省略
小単元3	【ねらい】議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したこと、近代作業が進展し、近代文化が形成されたことを理解する。 【小単元の問い】「日本は、国際社会とどのように関わったのだろうか～『三酔人経綸問答』を考察する～」	途中省略			途中省略
単元のまとめ	【ねらい】近代前半の日本を大観して、政治や外交の展開、社会の変化、産業の発達、文化の特色などに着目して、多面的・多角的に考察し、考察した結果を表現する。 〈課題1〉政治や外交の展開、社会の変化、産業の発達、文化の特色などに着目して、単元を貫く問いについて自分の考えをレポートにまとめよう ◎なぜ、日本は日露戦争を始めたのか ◎戦争を防ぐために必要なことを見いだそう 〈課題2〉作成したレポートと、単元の始めの自分の予想とを比べ、加わった点や新たに気付いた点などを振り返ろう ・〈課題1〉政治や外交の展開、社会の変化、産業の発達、文化の特色などに着目して、単元を貫く問いについて自分の考えをワークシートに記述する。 ◎なぜ、日本は日露戦争を始めたのか ◎戦争を防ぐために必要なことを見いだそう ・各小単元の問いに対するまとめと単元を貫く問いとを関連付ける。 ・〈課題2〉作成したレポートと、単元の始めの自分の予想とを比べ、加わった点や新たに気付いた点などを確認する。				○政治や外交の展開、社会の変化、産業の発達などに着目し、比較したり関連付けたりするなどして多面的・多角的に考察し、獲得した知識を活用しながら日本が「日露戦争を始めた理由」について文章や図などでまとめている。 【ワークシート】 ○変化や影響などに着目して、当時の国際社会の関係性を考察し、現在を生きる私たちが戦争を防ぐために必要なことを見いだそうとしている。 【ワークシート】 単元における自己の学びの経緯を振り返って学びを確認しようとしている。 【単元振り返りシート】

「主体的に学習に取り組む態度」の観点について

単元の始めて、学習に見通しをもって取り組めるよう**〔指導に生かす評価〕**を行います。

具体的には、単元を貫く問いに対する疑問を挙げたり、答えを予想したり、解決に必要な情報の収集先を考えたり、既習事項のうち役に立ちそうなことを挙げたりすることなどが考えられます。

「知識・技能」と「思考・判断・表現」の観点について

「知識・技能」については、考察した結果を表現する際の、資料等を活用しつつ「近代化した欧米諸国がアジアへ進出した」という概念的知識の獲得を評価します。

なお、歴史的分野の場合、単元を構成する「小単元」の学習ごとに、「知識・技能」と「思考・判断・表現」の観点について、**〔記録に残す評価〕**を行う場面を設定し、評価を行います。評価の結果を、フィードバックします。

※例えば、地理的分野 項目 C(3)日本の諸地域を単元とする学習では、七地方をそれぞれ「小単元」として学習しますが、「小単元」の学習ごとに「知識・技能」と「思考・判断・表現」の観点について**〔記録に残す評価〕**を行う場面を設定するではありません。

※地理的分野と公民的分野の詳細については、国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を御参照ください。

「主体的に学習に取り組む態度」の観点について

単元の終末で、主体的に課題を追究しようとしているかを見取り、単元を通しての変容を基に**〔記録に残す評価〕**を行います。評価の結果を、フィードバックします。

具体的には、学習を振り返り、単元の始めとまとめの学習状況を比較したり、教師や他の生徒による評価を伝えたりすることなどが考えられます。

各観点における【評価方法】

「知識・技能」…ノートやワークシート等の記述内容、パフォーマンス内容、ペーパーテスト、活動の様子など
「思考・判断・表現」…ノートやワークシート等の記述内容、パフォーマンス内容、ペーパーテスト、活動の様子など
「主体的に学習に取り組む態度」…ノートやワークシート等の振り返りの記述内容、発言内容、活動の様子など

学習評価の詳細については、佐賀県教育センターWeb「[学習評価の進め方](#)」を御参照ください。

